

「はなしあいシート」を使って話し合ってみよう！

①

夢中になっている姿

①と②について、事前にふせんに書いて持ち寄ると話し合いの時間がたくさんとれるね！



どのような活動に夢中になっているか、思い浮かんだ具体的な姿を1つあげて付せんに書いてみましょう。

※ ちなみに「夢中になる」とは、何かに対して心が奪われ時間を忘れて没頭しているような状態です。

②

夢中になっている姿の背景

子どもはなぜその活動に夢中になったのでしょうか。次にあげる視点を参考に気づいたことを付せんに書きましょう。(付せん1枚につき1つの気づき)

【興味・関心の対象】 その活動のどこに興味・関心があったのかな。

【人との関わり】 だれかと一緒にしたのかな、それとも一人でしていたのかな、途中でだれかを誘ったのかな。

【先生の関わり】 その姿に先生はどんな関わりをした？もしくはどんな関わりをしたい？

【環境や状況】 その時の環境の何がよかったかな。もしくは、「もっとこうしたかった」ことは？

【その他】 上記以外の気づきも、どんどん付せんに書いていこう！

③

話し合いながら付せんをはって、その後グルーピングしてみよう。

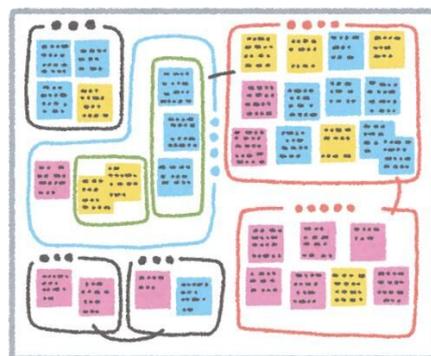
<話し合いの視点の例>

【子どもの具体的な行動】

どんな活動や遊びに夢中になっているか。その背景を深掘りして共通点やパターンを見つけてみよう。

【子どもの興味・関心の特徴】

それぞれの活動にある興味・関心について深掘りし、子どもの興味を引く要素を探ってみよう。



こんな感じにグルーピング

【人との関わり】

友達との関わりが活動にどう影響しているか話し合ってみよう。集団遊びと個の遊びの違いやそれぞれの利点を考察してみよう。

【環境や状況の影響】

物の配置や、遊具・道具の使い方など、どんな環境や状況で子どもが夢中になるのか話し合おう。

【学びの芽】

この活動を通して、どんな学びの芽が見られるか『10の姿』を手がかりに見つけてみよう。